

## 南魚沼市パブリックコメント集計表

案件名	「道の駅南魚沼」再整備事業基本構想（案）
担当	所属：産業振興部商工観光課観光交流班

### 意見提出人数

直接持参	1人
郵送	人
ファックス	1人
電子メール	3人
ウェブサイト入力フォーム	4人
その他	人
合計	9人

※期間前提出者1名

### 意見等の概要及び意見等に対する実施機関の考え方

意見等の概要	件数	実施機関の考え方（対応）
施設全体について		
道の駅南魚沼の拡張という方向性は大賛成。市外の観光客に向けての整備ももちろんだが、市民が何度も足を運びたくなる施設を目指すことも大切だと思う。	1件	基本構想（案）P10「3-1再整備基本方針（案）」に記載しましたように、観光客に向けた整備はもちろんのこと、市民にも愛され、何度でも訪れたいような施設整備を目指します。
冬季は消雪パイプが必要かと思われるが、あまり水量が確保できていないように見える。調査をしつつ新規で井戸を掘らないと、屋根だけでなく駐車場もあるので豪雪時に対応できないと思う。 国道の消雪井戸とリンクしている可能性もあるので国道の井戸とまた別の深度にする必要があるのではないかな。	1件	現在駐車場の除雪は、消雪パイプのほかに機械除雪も行っております。用地が拡大する予定のため、屋根、駐車場などの水量についても改めて調査・検討していく予定です。
改修方針にあるものをすべて行い、かつ魅力的な施設にするためには倍近い用地が必要になるのではないかな。小規模の土地で中途半端にすべてを行うと魅力が半減する上に拡張性もなくなってしまうのではないかな。	1件	ご意見のとおり「そこでしかできないもの」「そこでしか味わえないもの」は利用者の満足度の向上につながると考えていますので、計画目標である「ここにしかない出会い」をもとに計画を進めていきます。 また用地については、財源と照らし合わせながら

<p>全体を通して南魚沼でなければできないというものが少ない。</p> <p>観光客も住民もアウトドアアクティビティが好きな人間が多いのではないだろうか。</p> <p>そこにフォーカスを当てて現状よりもっと大規模な用地を活用する方向で計画していただきたい。</p>		<p>必要な機能を精査した上で、その機能に対する面積、配置、動線などから、今後、設計事業者と全体的な用地範囲を検討します。</p>
<p>整備手法について</p>		
<p>民間方式のデメリットとして、「事前の調査や事業者選定の期間が必要」とあるが、あくまで事前の手続きに要する業務と時間の増加であり、事業全体の長期化とは意味が異なる。どのような比較をして「期間が長くなる」としたのか、より詳細に説明すべき。</p>	<p>1件</p>	<p>従来方式は、仕様を発注者において決定し、設計・建設・維持運営をその都度個別に発注できるため、発注者の意向（公共施策）を反映しやすいメリットがあります。また、個別発注は、一括発注よりも民間事業者を求める能力分野が限定できることから、地元の企業や民間事業者の参入がしやすくなります。デメリットとしては、設計段階で、維持管理、運営のノウハウを反映しづらく、利用者のサービス低下に影響を与えることなども懸念されます。</p>
<p>民間方式の大きなメリットの一つはコストの削減である。この点を従来方式と比較せずに「期間が長くなる」ことだけをもって選定理由とすることは不十分ではないか。</p>	<p>1件</p>	<p>民間方式は、設計・建設や設計・建設・維持管理・運営を一括で民間事業者が発注することで、</p>
<p>「地元企業（へ）の発注の容易さ」とは何を意味するのか。地元企業も容易に受注しやすいという従来方式のメリットを挙げているとすれば、まさにその対極にある民間方式のコスト削減というメリットを無視する安直な選定のように思える。</p>	<p>1件</p>	<p>民間事業者のノウハウの活用や民間主導による事業者連携の強化、コスト削減・品質向上が期待されます。また、一括発注のため、入札から整備または運営までに要する事業全体での期間や手間が省略できます。デメリットとしては、公募段階で一括発注するための事前調査や事業者選定のための公募要件等を全て整備しなければならないため、事前手続きに時間を要します。さらに契約の期間が長くなりすぎると、市の政策が反映しづらくなる場合があるなど、長期的な事業展開にリスクが発生する恐れがあります。</p> <p>あくまでも道の駅は、道路利用者の利便性向上や安心して快適な環境整備などの「公益性」と、物販事業や飲食事業などの「収益性」を併せ持つ施設となる必要があると考えます。</p> <p>以上のことを総合的に判断し、従来方式を選択した中で、従来方式のデメリットである維持管理・</p>

		<p>運営のノウハウを反映しづらい点を解消するために、施設の設計段階から指定管理者を選定し、維持管理、運営がしやすく、コスト削減・品質向上につながりやすい施設の建設に配慮した手法を検討しました。</p> <p>基本構想では上記の内容がわかるような記載方法に努めます。</p>
防災機能について		
<p>一昨年のような高速道路が通行止めや、一時的な通行止めでの通行再開を待つ普通車や大型車などに対して、現在の国道近辺の施設(道路ステーション等含め)の駐車場のサイズでは受け入れきれない状況にある。特に冬季の豪雪時に南魚沼地域全体で大型車を確保できる場所が不足しているため、キャンプ場等のアクティビティ施設として確保しつつ有事の際は駐車場等として活用できるようなスペースを作るべきではないか。冬季は雪が降るために管理が簡単にできる方が望ましいので重機の運用管理もできる企業へ運営委託が望ましい。</p>	1件	<p>防災拠点としての機能を備えた道の駅として、豪雪時含め、普通車や大型車の避難場所としての利用が想定されます。市民の皆様だけでなく、観光客などの市外利用者が安心して利用できる道の駅とするためにも、財源と照らし合わせながら駐車場の面積を検討した上で、今後国道管理者である国土交通省などにも協力を仰ぎながら進めていきたいと考えています。</p>
<p>一般食品の中に重度障害者も食べられる備蓄食品も用意してほしい。(能登地震でも障害者、高齢者の食べ物が不足しているとのこと)</p>	1件	<p>基本構想(案)P10「3-1再整備基本方針(案)」の基本理念(コンセプト)に設定したように、「みんなが安心できる」防災拠点を目指します。有事の際に対応できるように地域の多様なニーズに応え、より多くの方が安心できるように検討します。</p>
<p>道の駅を観光拠点にし、防災の中心を担える場所に。</p>	1件	<p>基本構想(案)P22「6-1追加拡張したい機能(案)」にて、新たに防災機能(非常用電源・備蓄倉庫)を備えることを予定しています。障がいのある方も含め、皆様が安心できるような防災拠点づくりを目指します。</p>
<p>障害児や障害者が気がねなく避難できる場所が必要。障害者は周りを気にして避難所に行けないのが現状である。</p>	1件	

飲食施設について

<p>飲食施設 飲食・軽食 カフェ・フードコート が約 113 m<sup>2</sup> から 約 900 m<sup>2</sup>へ、これは失敗すると思う。お客さんの絶対数が少なすぎるので現況の飲食店施設と四季味わい館の飲食物販売で十分。その分アウトドア（河川公園）や車中泊（火が使える）などにお金を回したほうが良いと思う。</p>	<p>1 件</p>	<p>飲食施設の面積は、国土交通省における「道の駅」の駐車場に関する調査結果を参考にした駐車スペース数から算出しています。</p> <p>また、現状の農産物・特産品直売所には直売所と飲食施設があり、従業員専用のトイレや食品庫などの付属設備があります。基本構想（案）P25「6-2 目安となる数量・面積（案）」に記載しました飲食施設の既存面積の約 113 m<sup>2</sup>は、飲食スペース、厨房のみの面積である一方、再整備後の目安となる面積の約 900 m<sup>2</sup>には飲食スペース（フードコート）、厨房だけでなく、従業員用事務室・休憩室、トイレ、倉庫などの付属施設も含む面積で算出しています。飲食スペース、厨房だけの面積では約 400 m<sup>2</sup>を想定しています。</p> <p>基本構想（案）P27「6-3 整備手法について（案）」に記載しましたように、今後選定される設計事業者・指定管理者などと協議して進めつつ、基本構想では上記の内容がわかるような記載方法に努めます。</p>
<p>手軽に利用でき、選択肢があるフードコート、カフェを整備してほしい。</p>	<p>1 件</p>	<p>飲食施設は、基本構想（案）P22「6-1 追加・拡張したい機能（案）」に記載しましたように拡張を計画しており、多くの利用者が過ごしやすく、利用しやすい施設を検討しています。またメニュー等についても、より多くの皆様から気軽に利用いただけるように、発信方法や誘導方法も含め検討し、基本構想（案）P27「6-3 整備手法について（案）」に記載しましたように、今後選定される指定管理者と協議していく予定です。</p>
<p>ご飯はここにすれば南魚沼市の美味しいものが全て食べられるようなところに。</p>	<p>1 件</p>	
<p>飲食に関して、馴染みのある食べ物で名物的なものがあり、それを食べに訪れるような誘導ができるとうい。（ラーメン、麻婆豆腐など）</p>	<p>1 件</p>	
<p>飲食施設は 1 店舗だけではなく何店舗か構えられるようにしないと競争がなく企業努力がなくなってしまうのではないかと。地域住民が利用したくなるような店舗にしてもらえると嬉しい。子ども向きメニューを作れる店があると全体の利用率が上がると思う。</p>	<p>1 件</p>	

<p>障害者も食事できるお店がほしい。重度障害、嚥下障害などの方のためにミキサーなどが使用できる気くばりもあるとよい。</p>	<p>1件</p>	
<p>全天候型イベントスペースについて</p>		
<p>全天候型イベントスペースは災害時に活用できていいと思うが、400㎡程度の小規模のスペースを作ってもそもそも普段から利用価値が薄いのではないか。musubi-ba（六日町駅）の利用状況を見た上で検討してほしい。</p>	<p>1件</p>	<p>事業創発拠点 musubi-ba は起業・創業の支援や雇用の増加など目的としている一方で、全天候型イベントスペースはキッチンカーなどのイベントが増加してきている中で、天候に左右されないための全般的なイベントのスペースという場だけでなく、日差しなどを避けるための自由スペースとして、広く利用していただくことを想定しています。</p> <p>また用地面積にもかかわるため、必要な機能を精査した上で、その機能に対する面積、配置、動線などから、今後、設計事業者と全体的な用地範囲を検討します。</p>
<p>屋内子どもの遊び場について</p>		
<p>子どもを安心して遊ばせることができるような、全天候型で、幼児から小学生までが利用できる遊具施設を整備してほしい。</p>	<p>1件</p>	<p>基本構想（案）P25「6-2目安となる数量・面積（案）」にて、屋内の子どもの遊び場を備えることを予定しています。具体的な設備内容については、いただいた意見を参考にしながら設計事業者や指定管理者と検討します。</p>
<p>雨でも雪でも遊べる室内の遊び場があるとよい。室内で遊べるブランコを設置し、子ども達が集まる道の駅にしてほしい。</p>	<p>1件</p>	
<p>美術館について</p>		
<p>美術館に月替わりでもアート展示コーナーや個展があるとよい。（若者向けや南魚沼周辺で活動しているアーティストなど</p>	<p>1件</p>	<p>今泉記念館の展示については、これまで多くの方から御寄附いただいた既存の豊富な収蔵品で企画展示などを開催してきましたが、個人の方の作品展示は行っていません。更なるアートステーションへの来場者の増加に向けて、個人で活動されている方も展示できるような仕組みづくりを、既存の展示している収蔵品も考慮した上で指定管理者などと検討します。</p>

追加の機能について		
ドッグラン、犬が入れるカフェ、子供達が安心して遊べる施設の併設。	1件	全国にはドッグランが設置された道の駅や犬などのペットが入店できる施設を併設した道の駅などペットにも優しい道の駅が増えています。今回いただいた意見を参考にさせていただき、アレルギーなどの他のお客様への配慮もしながら、基本構想(案)P27「6-3 整備手法について(案)」に記載しましたように、今後選定される設計事業者・指定管理者などと検討します。
地域の人でも気軽に利用できる温泉施設を整備してほしい。	2件	基本構想(案)P25「6-2 目安となる数量・面積(案)」にて「地域資源の活用」の中の一つとして計画していますが、今後の社会状況の変化などに応じ、今後選定される設計事業者・指定管理者などと検討します。
RVパーク、キャンプ場、物流センター、農業施設、障害者就労施設の追加。	1件	現在追加したい機能に記載していませんが、有識者含め既に取り入れている施設などの状況も伺いながら、今後選定される設計事業者・指定管理者と検討します。
雪上キャンプもブームになりつつあると聞くので有識者への意見が聞けるとよいのでは。	1件	
防災拠点としての道の駅に雪室をつくることをもっとアピール(夏季は電気が通じなくなった時の冷蔵庫として運用する等)しないとSDGsとして以外の雪室自体の存在意義が薄いように感じる。 雪室施設は作るのであれば野菜だけでなく酒等のふるさと納税返礼品を貯蔵してブランディングしていくといいのではないか。 週末のみ雪室の内部の観光もできるようにするのはどうか。	1件	道の駅で雪室を活用することは、今までも何度か検討してまいりました。 ご意見のとおり、雪室にはSDGsやブランディング、防災機能などにも一定の効果があると考えております。その一方で、管理コストや今後の時代の流れなども加味して検討していく必要があります。 また、雪を活用した実証実験として、令和5年には、道の駅の広場内にかまくらテントを設け、テントの内部を雪山から溶けだした冷水で冷やし、新たな雪の活用方法も行ってきました。 雪室に限らず、環境面、ブランディング、管理運営などを考慮しつつ、有識者などの意見も伺いながら道の駅での雪の活用の方法を今後も検討します。
地域商品の販路拡大とあるが、地産地消するにはまず来てもらう必要がある。商品種類の拡充と市民が活用した	1件	ご意見のとおり、販路を拡大するには、来てもらうこと、知ってもらうことが必要です。今後そのきっかけとなれるようなアクティビティや仕掛け

<p>くなるアクティビティや子どもが何度も行きたがるような施設(冬季以外は除雪車両を展示できるスペースを設置する等)はどうか。</p>		<p>などを具体的な管理運営方法と併せて検討します。また、商品種類の拡充については、基本構想(案) P25「6-2 目安となる数量・面積(案)」にて「農産品加工所」を機能として追加し、6次産業化を進められるように検討してまいりました。</p>
<p>小栗山のスケートパークとは別の、広いフラットの路面に木造のセクションが少しあるような気軽にスケートボードに乗れるスペースがあるとよい。子どもが気軽に滑ることができ、スケートパークに行く人も増え、その流れが続いて行くと思う。またスケートボードに限らず、キャッチボールやサッカーボールを蹴って遊べる場所、広いスペースがあるとよい。</p>	<p>1 件</p>	<p>ご意見のようなスケートボードに限らず多目的に利用できるスペースは、アクティビティの場としての機能だけでなく、コミュニティの場となり得ると考えております。現在芝生のあるエリア(憩いの広場)があり、休日も子連れの方が遊ぶ場面も見受けられ、子ども同士の交流もあります。具体的な設備については、いただいた意見を参考にしながら設計事業者や指定管理者と検討します。</p>
<p>大人用のおむつ替えのできるベッドを作ってほしい。大人の障害者などでおむつしている人もいるが、赤ちゃん用はどこでもあるけど大人用はない。出かけてもおむつ替える所がないとどこへにもいけない。</p>	<p>1 件</p>	<p>基本構想(案) P24「6-2 目安となる数量・面積(案)」では多目的トイレの増設を予定していますので、現存の多目的トイレも含め、ご利用いただく方が利用しやすいような設備を完備するように検討します。</p>
<p>子供達が楽しむための長い滑り台があると良い。今の滑り台は小学生には短すぎる。</p>	<p>1 件</p>	<p>今年度には指定管理者による電動バギー、メリーゴーランドの導入などにより、多くのお子様達から楽しんでいただきました。お子様の中でも年代ごとに遊び方が異なることも想定した中で、改修後もお子様達も含め、今後どの世代の利用者も楽しめるような道の駅を設計事業者や指定管理者と検討します。</p>
<p>その他</p>		
<p>世代ごとに活躍できる仕組みや場づくり、教育の中心を担える場所に。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生・中学生：観光や仕事を体験できるような仕組み</li> <li>・高校生：高校生中心に活躍できる店やイベントの開催</li> <li>・企業・創業者：キッチンカーや小さな店などを設置してチャレンジ創業できるような場</li> </ul>	<p>1 件</p>	<p>近年道の駅南魚沼でキッチンカーなどの出店を伴うイベントが開催されたり、子ども達が出店する体験ができるイベントを事業者が企画したりと道の駅の活用が多岐にわたってきています。どの世代も活躍できる場づくり・活躍しやすい仕組みづくりについては、ご意見として参考にさせていただき、基本構想(案) P27「6-3 整備手法について(案)」に記載しましたように、今後選定される設計事業者・指定管理者などと検討します。</p>

<p>・老人世代の方が輝ける場</p>		
<p>住民で山登りが好きな方が多いと思うので、アウトドアアクティビティに特化している企業などを誘致し、ストアを出店してもらい、管理も引き継ぐことがブランディングにつながるのではないだろうか。</p> <p>大手ブランド力のある企業に協力要請をして、南魚沼市ひいては中越を代表する観光地になるような道の駅にしてみらいたい、そのためには地域の魅力を引き出す能力のある企業から南魚沼市自体のブランディングをってもらう必要がある。</p>	<p>1件</p>	<p>地域資源を活かしながら地域の魅力を引き出していただける企業が指定管理者として運営していただくことは重要なことであり、そのような企業が指定管理者として応募していただけるような管理運営方法を今後検討します。</p>